

合併問題 特別委員会

一般会計補正予算中、合併関連費について

〔説明〕 本年十月一日の合併に伴い、本庁の職員数が四十数名増加することや福祉部門の組織強化、連携強化を図っていくため、課の配置変更及び庁舎の改修等を行う経費である。例えば、税務三課を現在の一階から五階へ移動させ、一階フロアでは保健福祉部門の集約を図り、高齢者の方、障がい者の方など、同じフロアでお互い課の連携を密にして、市民サービスの向上も踏まえながら対応できるようにしたい。また、窓口業務が相対的に少ない課については、本庁以外のほえみ館や水道局などへの移転を考えている。このことは広報を通じて市民等への周知を図り、住民サービスに支障をきたさないように、十分配慮していく。

〔質問〕 監査事務局が果たす役割は多大なものであるが、今回、ほえみ館に移動する予定になっている。毎月の例月出納検査や決算審査など、あるいは住民監査請求を想定した場合の効率性の観点から、多くの市民が訪れる本庁舎にあるべきではないのか。

〔答弁〕 今回は福祉部門の充実や窓口業務を優先に考え、やむを得ずこのような配置になった。しかし、監査事務局は、やはり本庁舎内に配置した方がよいので、平成二十年度末までの暫定措置と考えており、その後本庁に戻す考えである。そのためには、まずスペースを確保する必要があるのではかの課の移動も併せて考えていく。

〔審査結果〕 すべての議案について、原案を可決すべきものと決定。

一般質問

6月20日(水)

徐福プロジェクト をどう評価する



江頭 弘美

県が進める「佐賀徐福プロジェクト」は取り組み方によっては、市のまちづくりの施策の中で起爆剤となり得る可能性を秘めている。「徐福」を今後どのように活かしていくのか。またこの「プロジェクト」をどう評価しているのか。

〔答弁〕 県の「佐賀徐福プロジェクト」は、徐福をテーマとした佐賀県の中国戦略

「市政ここが聞きたい」

今号から変更になりました

- 一般質問の掲載順序 Ⅱ 質問を行った日付順
- その他の質問項目 Ⅱ 当該議員の質問に対する執行部答弁の後に掲載

救命都市佐賀市 を目指して！



中本 正一

小・中学校や市立公民館は、地域の中心拠点として多くの住民に活用され、また災害時には避難所として使用される。今後、地域における救命率の向上を図るため、現在の整備基準を見直し、早急にAEDを整備する方針を示すべきでは。

〔答弁〕 小・中学校や市立公民館は、本来の目的以外にも社会教育の場、地域コミュニティの場として、さらに災害時には避難場所として、多くの住民の方が利用される施設である。したがってAEDを設置する必要性があると認識している。また、現在のAED設置基準についても見直す必要があると考えており、財政的には厳しいが、小・中学校、市立公民館等の施設を含め、随時設置数をふやしていきたい。

◆その他◆情報セキュリティ対策の強化／バイオマス利活用の推進



市役所に設置されたAED

温泉地活性化 計画について



福島 龍一

観光政策は市の重点課題で今搬温泉を活用した観光戦略を示したが①実現可能な指標を示す事が必要だが、温泉地活性化計画の達成期限とスケジュールは②行政としての関わり方は③観光開発と地域環境保護・生活環境保護とのバランスは。

ており、ソフト事業についてはできるものから取り組み、それ以降も継続して推進していく②地域で取り組めることは地域で、を基本とし、市が実施すべき環境整備事業については行政で行うという役割分担のもと事業を行っていく③観光地としての施設も必要である一方、自然環境を守るような規制も必要であるため、そのバランスを考えながら観光目的



古湯温泉

の趣旨に沿った土地利用計画等を定めていく。

◆その他◆「世帯人員調査票」の活用のあり方

高すぎる国保税 の引き下げを



中山 重俊

国保税は所得二百万円、四人世帯で三十一万二千八百円。所得の十五%を超える負担であり引き下げを求める。松本市では資格証交付基準を変更し、未就学児童のいる世帯には正規の国

保証が交付されている。佐賀市でも正規の国保税を。

◆その他◆国民健康保険は、

歳出と歳入を均衡させなければ運営できないので、高齢社会で医療費が増大している現状では、国保税の引き下げは大変困難である。また、滞納がある世帯に対しては、再三接触を図っても反応がなく、指導してもなかなか納税されない方に

資格証明書を交付している。乳幼児医療費助成の対象世帯を直ちに資格証明書の交付対象から除外するのではなく、収入や支出・借金・家族の状況や、滞納の理由などを詳しく聞き取り、個別に判断していきたい。

◆その他◆「靖国DVD」を学校教材とするな／県道佐賀環状線の渋滞解消など

県病院跡地活用は 移転と同時並行で



福井 章司

①県立病院移転後の跡地活用検討は進んでいるか。また移転と跡地活用はセットで進めると聞いているが大丈夫か②賑わいを創出する考えという市長はどういうイメージを持っているか③跡地活用についてパブリックコメントの計画は。

◆その他◆跡地活用の検討

は遅れているが、人が来る、住むという基本理念に基づき、まずは市の原案を早期に作成し、新病院完成、現建物解体と経て跡地が具現した折には、直ちに跡地活用に着手できるように進めていきたい②好生館が医療医学の中心であったので、そういった方面の使い方ができないかと模索をしている③パブリックコメントは行いが、その時期については検討したい。



現在の県立病院好生館

◆その他◆定住促進／環境対策／早稲田・佐賀二十一世紀子どもプロジェクト

6月21日(木)

県の徐福プロジェクトへの対応は



亀井 雄治

佐賀市は文化交流を、連雲港市は経済交流をと、各々の思いにズレがあるようだが、今後どのような展開を考えているか。また市のホームページ内に徐福に

関する物語のサイトを立ち上げ、連雲港市を意識し中国語版も作ってはどうか。

◆その他◆市長として中国連

雲港市を訪問し、日本からの企業を誘致したいという思いを強く感じた。新しい工業団地に区画も用意することなので、佐賀市においても企業に情報提供をしていきたい。また農産物

やノリの加工技術等に対する要望もあるので、提供できるものを紹介したい。ホームページについては現在徐福伝説の情報が日本語でのみ掲載されている状態であるので、県の徐福プロジェクトと連動して中国向けの情報発信も考えていきたい。

◆その他◆人口定住策について

保育料未納徴収は 保育園との連携を



平原 嘉徳

保育料の未納問題は行政運営上大きな問題であり、この解決策には保育園との連携が欠かせない。この未納額は市民の税金で補てんされるが、現在の未納件数、滞納額はいくらか。また、今後の未納対策はどのようなことを考えているか。

答弁

平成十八年度末の保育料未納額は、約九千万円、そのうち現年度分が二百六十三件、約三千三百二十万円で、平成十七年度以前の過年度分の累計が四百八十七件、約五千六百八十万円。今後の未納対策については、これまでの対策に加え、市が私立保育園と保育料収納の委託契約などを結ぶことにより、情報の共有

や保育園での保育料収納を可能にしたいと考えている。また、特に悪質な未納者に対しては、財産の差し押さえ等も含め厳しい対応をとっていききたい。

◆その他◆「子育て応援の店」事業について／文化財の保管のあり方／障がい者福祉は

長崎街道西部に公 衆トイレの設置を



松尾 和男

長崎街道の西部地域は流れて見る観光の一つであるが、観光客が使えるような公衆トイレがない。日新小学校にある施設開放用のトイレを児童の安全を確保しながら、観光客も使えるようなユニバーサルな公衆トイレに改修できないか。

答弁

日新小学校内にある社会体育用の屋外トイレは、身障者用にも使えるようになっていると認識している。小学校内にあるトイレを観光用のトイレとして使用することは、平日・休日問わず学校内へ不特定多数の人の出入りを導くことになるため学校の安全対策上からも好ましくないと考えているが、現在長崎街道沿いにはトイレが少ないため、小学校内



長崎街道（日新小学校付近）

◆その他◆子どもの健康問題

にある屋外トイレの活用について、教育委員会及び経済部において、両立ができるよう協議していく。

漁港の保全 整備について



大坪 繁都

有明海に注ぐ河川は潮の干満で多少の浮泥土の堆積はある。しかし寺井津漁港の泥土被害は甚大で、毎年しゅんせつしており、あり方として問題である。抜本的な原因調査を緊急に行うべきでは。同時に、廃棧橋の撤去が必要ではないか。

答弁

国・県・市とも財政的に厳しい状況だが、泥土の堆積作用がある限り、

しゅんせつ事業は必要と認識している。泥土の堆積原因は、河川からの土砂の流入や有明海特有の干満の差など、さまざまな要因があると思われる。泥土の改善の抜本的解決に向けて、関係団体と十分協議をして、原因究明の要望、働きかけをしていきたい。また、漁港区域内の棧橋は補助事業等で設置され、港湾区域内は県の管理区域なので、撤去については今後、関係機

農業の振興 策について



永瀨 利己

米価の低迷や担い手不足で食料自給率も減少し農業を取り巻く環境は厳しさを増している。集落営農や認定農業者などの制度では参加できない零細農家は離農を余儀なくされる。四月か

ら新たに設置した農林水産部の取り組みは。

答弁

国の農政が改正され、市としても担い手の確保は最大の課題であると考えている。零細農家も集落営農組織や認定農業者に作業受委託をすれば交付金が受けられるが、組織的な農業は効率的経営が図られるので、経営基盤の強化の面から推進していきたい。農



漁港に堆積した泥土

関と協議していきたい。

◆その他◆カラスの被害とカチガラスの保護は／市県道の道路管理は

◆その他◆青少年健全育成／佐賀市議会議員選挙結果